

**LB90070 LB90074 LB91070 LB91070S LB91074**

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明**

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

・本商品は定期的な保守点検が必要です。保守点検には、専門のサービス会社とのメンテナンス契約をお勧めいたします。

＊松下電工サービス会社とのメンテナンス契約をお勧めいたします。



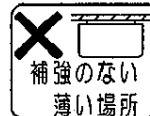
**48時間充電後 → 非常点灯の確認をしてください。**

電池は設置後通電し、  
充電しないと非常点灯しません。

**安全に関するご注意**

**警告**

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 天井取付専用非常灯器具です。  
右図のような場所には取付けしないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 電源は専用回路とし、途中にはスイッチを設けしないでください。
- 非常点灯しない原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 通電前にランプを取付けしないでください。感電・やけどの原因となります。
- 蓄電池を分解したり火や水に投入しないでください。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。



**注意**

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水がかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因や蓄電池の劣化及び非常点灯しないおそれがあります。

**各部のなまえと取付けかた**

**1 取付け前の確認**

- 器具質量（器具の種類と交換部品参照）に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
- ロックワール等のやわらかい天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。不備がありますと落下の原因となります。

**2 取付金具を取付ける**

- 本体の解除レバーを押し、取付金具を外す。
- 電源線を取付金具の電源穴より引き込み付属の木ネジ2本で取付けてください。取付に不備がありますと器具落下の原因となります。

**3 電源線を接続する。**

- 必ず電源を切ってから電源線を接続する。端子台の送り容量は20Aです。接続が不完全の場合、容量オーバーした場合は、火災の原因となります。

**4 本体を取付ける**

- 取付金具と本体の向きを合わせ、パチンと音がするまで確実に取付ける。不備がありますと器具落下の原因となります。

**5 蓄電池を取付ける**

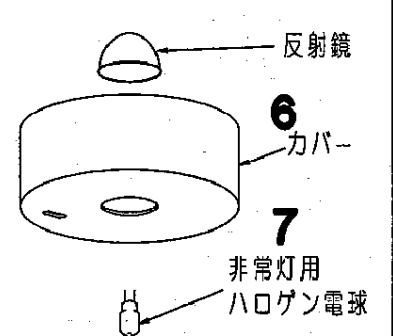
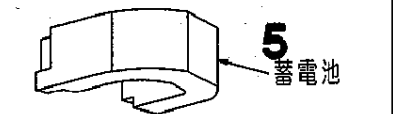
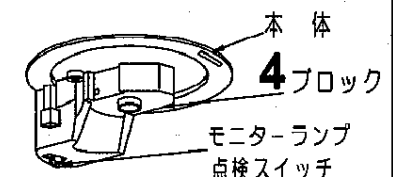
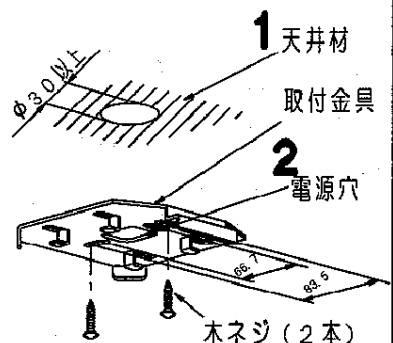
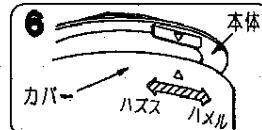
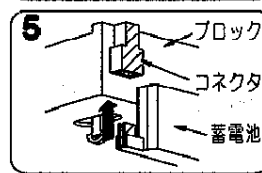
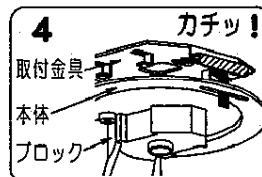
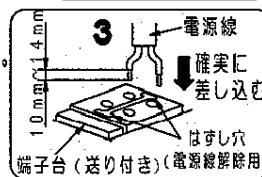
- ブロックのコネクタに合わせ、蓄電池を押し上げる

**6 カバーを取付ける**

- カバーの向きに合わせ、右に回し本体に取付ける。取付に不備がありますと器具落下の原因となります。

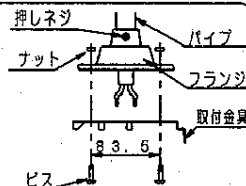
**7 非常灯用ハロゲン電球を取付ける**

- 電源通電確認後、電球を取付ける。
- 電源通電前に電球を取付けると電球が点灯して高温になり、やけどの恐れがあります。また電池は放電します。



**パイプ吊具の場合（別売）**

1. パイプにフランジをねじ込む（上下2ヶ）  
取付に不備がありますと器具落下の原因となります。
2. 押しネジを上下2ヶ所締める  
締付けが不完全な場合、落下の原因となります。
3. 付属のビスとナットで取付金具を固定する。  
締付けが不完全な場合、落下の原因となります。



お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

**警告**

- 器具を改造しないでください。感電・火災の原因となります。
- 異常な感電を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。

**⚠ 注意**

- 電池を加熱したり、火や水の中に入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 電池は絶対に分解しないでください。やけど、感電の原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 電池のショートは絶対にさけてください。火災・破裂・やけど・感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。（＊１）３～５年に１回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。放電すると、火災の原因となることがあります。

\* 1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。

## 器具の種類と交換部品

(専用電源電圧 AC100V 50/60Hz)

| 品番       | 質量     | 反射鏡              | 交換電池                       | 適合電球            |
|----------|--------|------------------|----------------------------|-----------------|
| LB90070  | 0.8 kg | 9 W専用<br>(鏡面反射鏡) | FK696C<br>(3.6V<br>2500mA) | JE3.6V<br>9W-2  |
| LB90074  | 0.8 kg | 9 W専用<br>(白反射鏡)  |                            |                 |
| LB91070  | 1.0 kg | 低天井用<br>(鏡面反射鏡)  | FK697C<br>(4.8V<br>2500mA) | JE4.8V<br>13W-2 |
| LB91070S | 1.0 kg | 低天井用<br>(鏡面反射鏡)  |                            |                 |
| LB91074  | 1.0 kg | 低天井用<br>(白面反射鏡)  |                            |                 |

## 取付後の確認とお願い

48時間以上器具に通電した後に、以下の項目をご確認ください。

- モニターランプが点灯していることを確認してください。
- 点検スイッチを引っ張って点灯を確認してください。30分以上点灯すれば正常です。蓄電池が放電している場合は、48時間以上通電してから確認してください。
- 点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- 電源を通電しないまま電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。
- 長時間使用しない場合は、蓄電池をはずして保管してください。

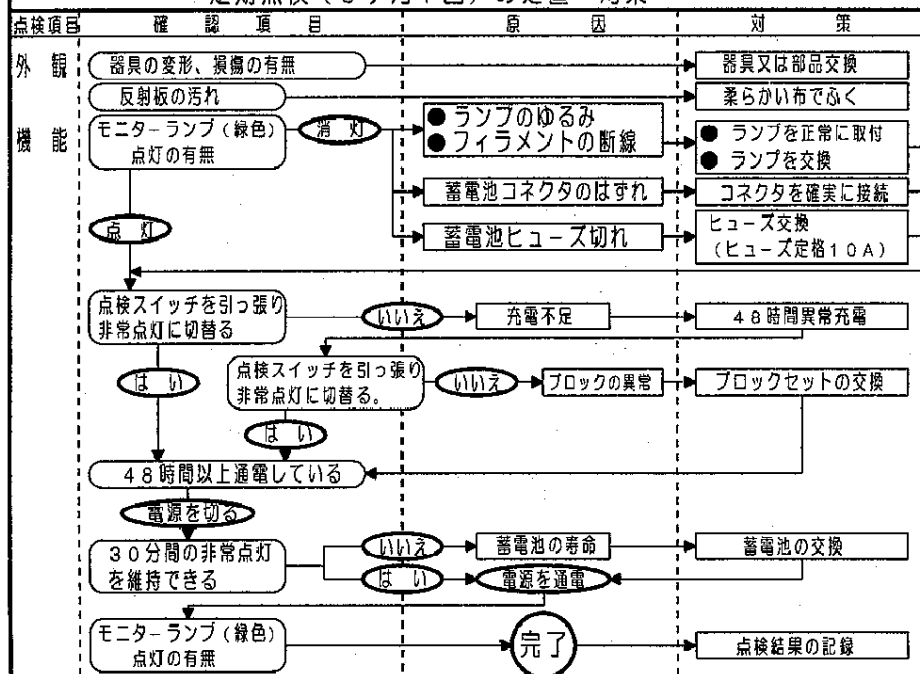
## 定期点検について

- 3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお勧めします。
- 6ヶ月に1回は、必ず非常点灯持続時間（30分間以上）、切替動作などの機能点検を併せておこなってください。
- 蓄電池の寿命は一般的に4～6年です。4.8時間以上充電して30分間以上非常点灯しない場合は、蓄電池を交換してください。
- ランプ、蓄電池などの交換部品は指定のもの以外は使用しないでください。

## 保証について

- この商品の保証期間は1年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。  
●保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

## 定期点検（3ヶ月1回）の処置・対策



## 点検記録

取付場所: 器具No.

年 月 日設置

[illegible]

この器具は、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換、および使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出しリサイクルへご協力ください。

松下電工株式会社

(〒571-8686) 大阪府門真市門真1048

**☎ (06) 6908-1131**

取説No. LB91070-T5

0 1 1 2 0 1